

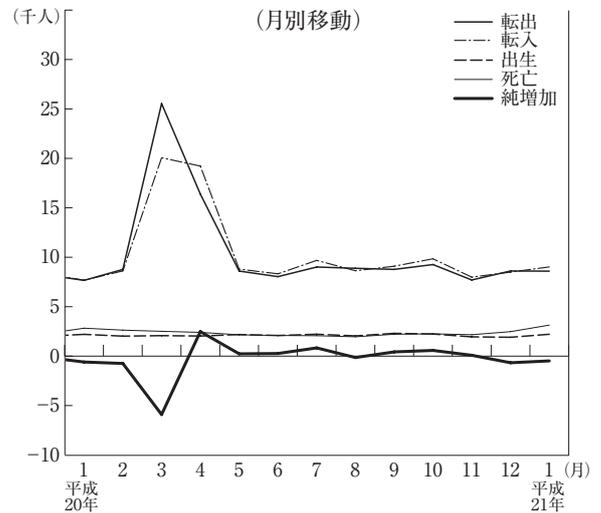
## 今月の主な動き

### ■人口 (21年2月1日現在)

#### 1月の概況

推計人口 2,967,850人 (対前月 △495人)  
 (男 1,476,296人, 女 1,491,554人)  
 〈内訳〉 自然動態 △919人  
 (出生 2,182人 死亡 3,101人)  
 社会動態 424人  
 (転入 8,945人, 転出 8,521人)  
 世帯数 1,078,179世帯 (対前月 499世帯)

### 人 口



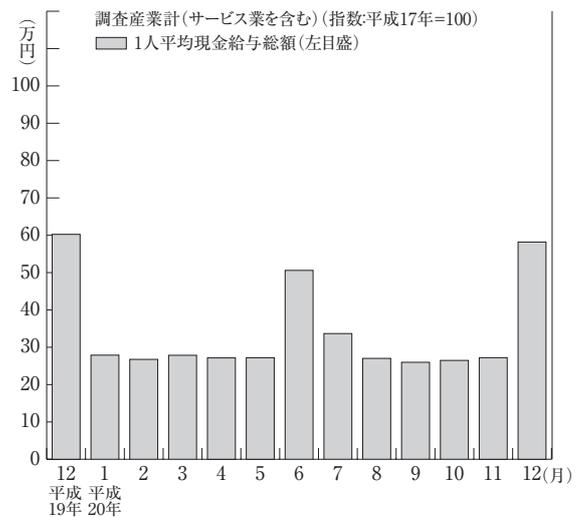
### ■賃金・労働時間・雇用 (20年12月)

現金給与総額 581,860円 (△3.4%)  
 きまって支給する給与 255,638円 (△3.2%)  
 特別に支払われた給与 326,222円

総実労働時間 146.7時間 (△1.9%)  
 所定内労働時間 135.9時間 (△1.3%)  
 所定外労働時間 10.8時間 (△7.7%)

※ 事業所規模5人以上, ( )内は前年同月比。

### 賃金・労働時間・雇用



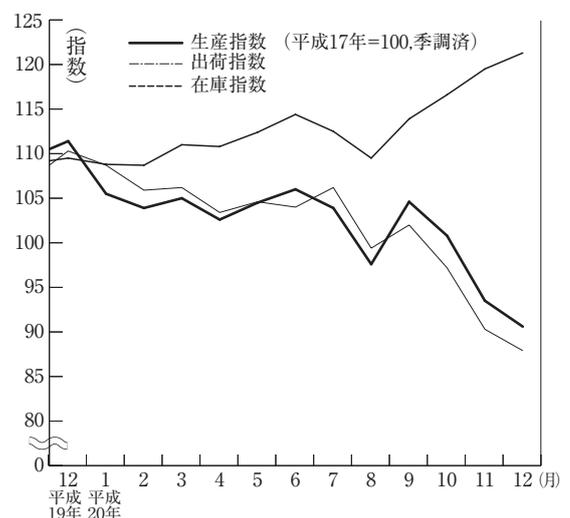
### ■鉱工業指数 (20年12月) (季調済, H17年=100)

生産 90.6 (前月比 △3.1%, 前年同月比 △17.1%)  
 上昇…電気機械工業, パルプ・紙・紙加工品工業  
 低下…電子部品・デバイス工業, 鉄鋼業, 食料品・たばこ工業等

出荷 87.9 (前月比 △2.7%, 前年同月比 △18.6%)  
 上昇…電気機械工業, 化学工業等  
 低下…石油・石炭製品工業, 電子部品・デバイス工業, 鉄鋼業等

在庫 121.3 (前月比 1.5%, 前年同月比 10.8%)  
 上昇…化学工業, 一般機械工業, 電子部品・デバイス工業等  
 低下…鉄鋼業, 非鉄金属工業等

### 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉



● 今月の主な動き ● ● 今月の主な動き ●

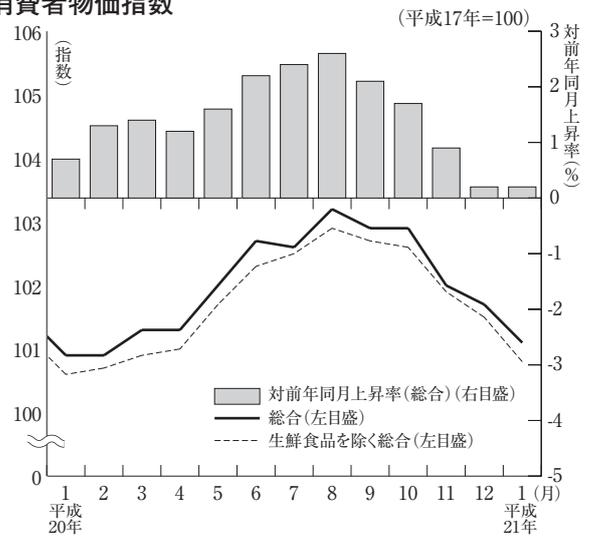
■ 消費者物価指数 (21年1月) (県平均, H17=100)

総合 101.1 (前月比 △0.6%, 前年同月比 0.2%)

上昇した項目…電気代, 生鮮野菜, 生鮮果物

下落した項目…教養娯楽サービス, 自動車等関係費, 衣料  
生鮮食品を除く総合 100.8 (前月比 △0.7%, 前年同月比 0.2%)

消費者物価指数

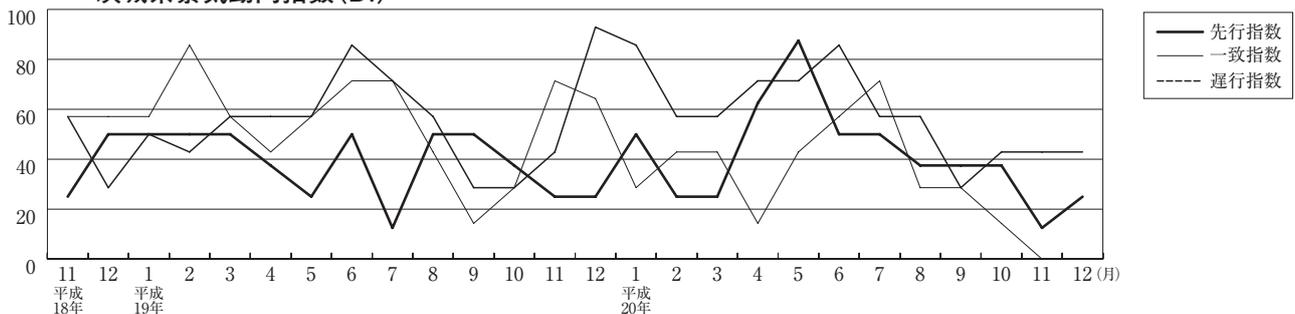


■ 費目別指数

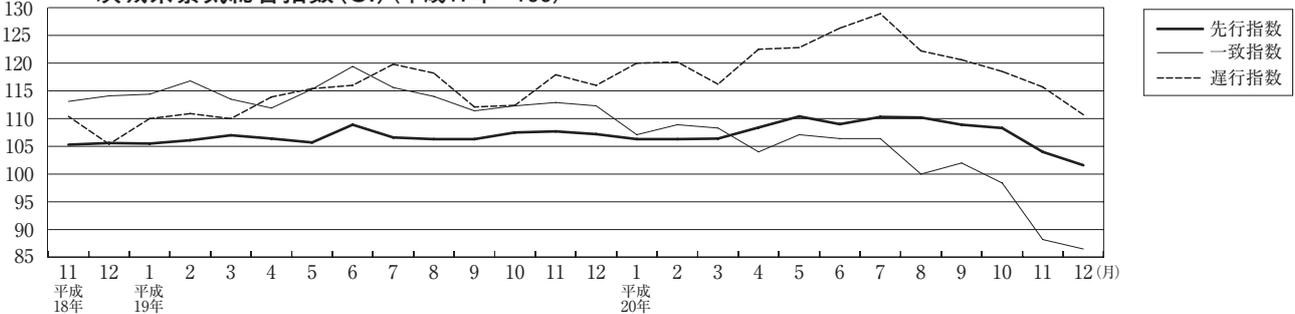
区分	指数	上昇率(%)		区分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	101.1	△0.6	0.2	保健医療	102.1	0.9	△1.1
食料	106.1	0.5	3.7	交通・通信	95.3	△1.7	△6.7
住居	100.2	0.1	0.2	教育	103.1	0.0	1.6
光熱・水道	112.6	1.5	4.1	教養娯楽	94.3	△2.7	△1.7
家具・家事用品	95.5	△0.6	1.4	諸雑費	101.4	0.0	△0.4
被服及び履物	99.0	△6.5	0.6	生鮮食品を除く総合	100.8	△0.7	0.2

■ 景気動向・総合指数 (20年12月)

(%) 茨城県景気動向指数 (DI)



茨城県景気総合指数 (CI) (平成17年=100)



《 景気動向指数 (DI) 》

先行指数 25.0% (確報値)  
一致指数 0.0% (確報値)  
遅行指数 42.9% (確報値)

12月の景気動向指数の一致指数は、5か月連続50.0%を下回った。  
これは、「有効求人数」が9か月連続マイナス、「鉱工業生産指数」、「投資財出荷指数」及び「機械工業生産指数」が5か月連続マイナス、「茨城県管内輸入額」が4か月連続マイナス、「大口電力使用量」が3か月連続マイナス、「百貨店販売額」が2か月連続マイナスとなり、7系列全てがマイナスとなったためである。

一方、経済部門別にみると、生産出荷の指標は、採用している4系列（「建設財生産指数」、「鉱工業生産指数」、「大口電力使用量」及び「機械工業生産指数」）全てがマイナス、消費家計関連の指標は、採用している3系列（「自動車新規登録台数」、「百貨店販売額」及び「勤労者世帯消費支出」）全てがマイナスとなった。

《 景気総合指数 (CI) 》 (H17=100)

先行指数 101.6 (確報値) 対前年同月比 △ 5.2%  
一致指数 86.5 (確報値) 対前年同月比 △22.9%  
遅行指数 110.7 (確報値) 対前年同月比 △ 4.5%